

## 平成 16 年度 病害虫発生予察情報 特殊報 第 1 号

病害虫名： タテスジヒメジンガサハムシ

*Cassida circumdata* HERBST, 1799

対 象： サツマイモ

### 1．特殊報の内容

東京都八丈島でタテスジヒメジンガサハムシによるサツマイモへの被害と分布拡大を確認した。

### 2．発生経過など

- (1) 2004年5月下旬頃、八丈島（八丈町）大賀郷地区において、サツマイモの葉に丸く穴があく被害が報告された（第1図）。病害虫防除所（八丈島駐在職員）・八丈島園芸技術センター・中央農業改良普及センター（八丈支所）で現地調査を行い、ハムシ科・カメノコハムシ亜科・カメノコハムシ属の1種と思われる成虫が採集された。図鑑による同定の結果、本種と判明した。
- (2) 2004年6月に八丈島島内の発生状況（島内分布）を調査したところ、サツマイモ栽培地域のほぼ全域で発生が確認され、幼虫も確認された。また、サツマイモ以外にアサガオや野生のハマヒルガオでも発生が確認された。なお、近隣の青ヶ島における発生は未詳である。
- (3) 本種は八丈島では既に1990年代後半から2000年代初頭には分布が確認されていたという情報があるが、1990年代前半の調査（大野，1994）では本種の記録はないため、1990年代後半以降に八丈島に侵入した可能性が高い。なお、本種は小笠原諸島中硫黄島では既に記録がある（木元・滝沢，1994）。
- (4) 本種はサツマイモの害虫とされている（日本応用動物昆虫学会，1987）。

### 3．形態（第2～5図）

- (1) 成虫は体長4.2～5.6 mm。背面は縁が薄緑色を帯びた透明、中央部が金緑色に黒い筋の入った“陣笠”状の殻でおおわれたような形をしている（第2図）。腹面、脚、触角は黄褐色（第3図）。
- (2) 終齢幼虫は体長6.5 mm。胴体は鮮緑色で湯たんぼのような形をしており、側面が長いトゲで覆われる。尾部末端に2本の長いトゲがあり、ここに脱皮殻を順次付けていくので尾のようになる（第4図）。
- (3) 蛹は鮮緑色で体長4.5～5 mm。平たく、カブトガニのような形で、終齢幼虫時の脱皮殻でくるまれる（第5図）。

#### 4. 分布・生態

- (1) 国外では中国(南部)・台湾・インドシナ・フィリピン・インドネシア・インド・スリランカなどに分布し、国内では琉球列島(トカラ, 奄美, 沖縄, 南西の各諸島), 種子島, 屋久島, 中硫黄島(小笠原)に分布するとされる(木元・滝沢, 1994)が、本土における正式な記録はない(1932年に「鹿児島」における記録があるとされるが、疑問視されている)。
- (2) 琉球列島では成虫は3月から8月にサツマイモ・ハマヒルガオで見られるというが、国内における生活史は明らかでない(木元・滝沢, 1994)。
- (3) 中国南部における観察では、卵は淡緑色で2層の膜に包まれており、葉面に産卵される。幼虫は他のカメノコハムシ亜科の幼虫と同様に、脱皮殻を順次、尾部末端に付ける。卵, 幼虫, 蛹の期間はそれぞれ約3~7日, 12日, 5日間であり、年間で5~6世代発生すると考えられている(Yeung, 1934)。

#### 5. 被害(第1図)

- (1) 幼虫・成虫とも、葉を食害する。寄主植物の範囲はそれほど広くなく、今までにサツマイモ以外に報告があるのはハマヒルガオのみである(したがって、今回のアサガオの食害は初記録となる)。
- (2) 食害は葉を丸くかじりとり、また、周縁部に多くみられる傾向がある。

#### 6. 防除対策および注意

- (1) 現在のところ本種に対する登録農薬は無い。
- (2) 未発生地においては成虫の侵入を防ぐことが肝要である。発生地では被害株の葉に卵, 幼虫, 蛹, 成虫のいずれもが付着していることが予想されるので、特に発生が未詳である青ヶ島などへの苗の移動にあたっては注意を要する。なお、防除対策などの問い合わせは病害虫防除所に連絡のこと。

#### 7. 参考文献

- 木元 新作・滝沢 春雄(1994) 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説。東海大学出版会, 東京。538 p.
- 日本応用動物昆虫学会(1987) 農林有害動物・昆虫名鑑。日本植物防疫協会, 東京。379 p.
- 大野 正男(1994) 4. 昆虫類。八丈島地熱地点に係わる自然公園内環境基礎調査 報告書。東京電力株式会社・東電設計株式会社, pp. 263-321.
- Yeung, K. C. (1934) The life history of the tortoise beetle, *Metrioma circumdata* Hbst. (Coleoptera, Cassididae). Lingnan Jour. Sci., 13: 143-162, 2 pls.

8 . 図 : 第 1 ~ 5 図



第 1 図 被害状況 (葉裏に成虫がいる).



第 2 図 成虫 (背面より . “陣笠” のような形).



第 3 図 成虫 (正面より).



第 4 図 幼虫 (尾部に脱皮殻を付けている).



第 5 図 蛹 (幼虫時の脱皮殻でくるまれる).